

全国会議公開講演会



「希望は欺かない 正平協の50年と分断の時代」

日時 2025年1月31日（金）18:00—20:00

プログラム

18:00 開会の挨拶：ウエイン・バートン司教（正義と平和協議会会長）

18:10 正義と平和協議会の50年の歴史（10分程度）

発題1 シスター弘田しずえ 80年代の正平協 活動の広がり

発題2 松浦悟郎司教 シスター弘田の発題を受けて

19:00 シスター弘田、松浦司教、司会のクロストーク

19:50 閉会の挨拶

20:00 終了

教会の社会教説、平和と正義への献身、私たちの共通の家への配慮、そして異文化・異宗教間の対話への関心も、神の民の間により広く共有されなければなりません。そうすることで、宣教に従う弟子たちの行動が、より正義に満ちた思いやりのある世界の構築に影響を与えることができるでしょう。社会の適切な秩序、労働の尊厳、公正で支援的な経済、そして包括的なエコロジーのために、生命と人権を守るという誓約は、教会が歴史の中で生き、体現することが求められている福音宣教の使命の一部です。（シノドス最終文書 151）

シノドスに参加した司教たちは、復活した主の経験が「私たちを取り巻く人々の苦しみに対する私たちの目を開き、私たちに浸透する」と報告しています。戦争で傷つき、恐怖に怯える子供たちの顔、泣く母親、多くの若者たちの打ち砕かれた夢、過酷な旅に直面する難民、気候変動や社会的不正義の犠牲者などです。

最終的に、シノドスは教会が「正義と平和、人間の尊厳と共通善に強くコミットし、全人類とともに」歩むことを可能にするでしょう。

水俣はわたしたちに開発の極端に殺人的な姿を象徴的に示す地だ、ボパールとチェルノブイリがそうであったように、進んだ科学、技術、生産技法をもつ巨大組織が水俣の人びとに恐怖と病いと死をもたらし、その美しい海に取り返しのつかない損害をあたえた。水俣、ボパール、チェルノブイリという三つの災害は、わたしたちの時代の指標といえるだろう。

違いを受け入れ、誰も排除しない

ラディカルに包摂的な教会共同体

正義と平和協議会の歴史

- 1 創設期
- 2 70年代～90年代
 - * 90年代 組織上の転換
- 3 2000年以降

1 創設期

1965年12月8日第二バチカン公会議終了

『現代世界憲章』（65年12月7日採択公布）

「本公会議は、人類の大部分が今なお苦しんでいる多くの艱難を考え、また貧しい人々に対する正義とキリストの愛を至るところで奨励するために、普遍教会のある何らかの機関を設立することが非常に時宜を得たことであると考え。この機関の任務は、貧しい地域の発展と諸国間の社会正義を推進するようカトリック共同体を激励することである」（90）

1967年 教皇庁「正義と平和委員会」設立

1970年 日本司教協議会定期司教総会で、「正義と平和司教委員会」設立が承認

1971年 第1回シノドス「司祭職と世界における正義」開催（ローマ）

第1章 正義のための戦いと世界の変革への参加は、福音宣教の本質的な構成要素としてわれわれの前に立ちだかっている。換言すれば、人類の救いと、人びとをあらゆる抑圧された状況から解放するための教会の使命を果たすことが、正義を実現し、世界を改革することだといえる。（『世界の正義』1971年シノドス文書）

1974年5月 日本カトリック正義と平和協議会が設立

会長は武者小路公秀氏、担当司教に相馬信夫司教が就任

1974年7月6日 韓国 池学淳司教、韓国の民主化運動に関係した疑いで金浦空港で韓国中央情報部に拘束される。

7月9日 金芝河氏死刑求刑

7月11日 「正平協」第1回「例会」開催

7月12日 正平協として初めての声明文となる「韓国の人権侵害に憂慮する」を発表

1975年11月 第一回「全国会議」（現在の正義と平和全国集会）を東京で開催

正平協の活動が各地に広がる

2 70年代～90年代 “相馬司教時代??”

- ・韓国民主化への連帯
- ・フィリピン進出の日本企業の環境破壊問題
- ・外国人指紋押捺拒否運動（1980～90年代改正外国人登録法の成立）

・湾岸戦争（1991年） 民間機チャーターによる難民救出

- ・東ティモール独立支援

1994年 アジア太平洋東ティモール連合 初代名誉議長に相馬司教就任

1996年クアラルンプールで逮捕強制送還 国際的なニュースとなった

- ・ラテンアメリカとの連携 SICSAL（ラテンアメリカと連帯する国際キリスト者会議）加盟 >> グアテマラ内戦での民衆支援

正平協 組織上の転換

1990年4月 正平協事務局はカトリック中央協議会企画推進部に編入

正平協事務局に中央協職員が当たることになる

1992年11月 中央協議会 四谷から潮見へ移転

1994年2月 「例会」の終了

活動の主体は、各地の正平協が担うことが謳われた

1995年9月 「正義と平和協議会全国会議」は「正義と平和全国集会」（広島大会）に

3 2000年以降 右傾化と軍拡の時代

1990年代 冷戦の終了、日本国憲法の理念の喪失

国内の右傾化：

1996年「新しい歴史教科書を作る会」設立、歴史修正主義の顕在化

1999年 日の丸君が代 国旗国歌法成立

9条骨抜き：湾岸戦争（91）に始まる「普通の国」論

1999年 新ガイドライン周辺事態法成立

2006年 新・教育基本法成立

2014年 辺野古湾埋め立てボーリング調査開始

2015年 安全保障関連法成立

2022年 安保関連3文書閣議決定 大軍拡、新たな「戦前」

エキュメニカルな平和連帯の開始

平和を実現するキリスト者ネット
(1999年)

平和をつくり出す宗教者ネット
(2002年)

9条世界宗教者会議 (2007年)

*ピース9の会 (2002年)

現在の取り組み

憲法（改憲問題）

憲法9条、平和問題

沖縄基地問題

脱原発

死刑廃止

韓国との連帯（日韓脱核平和巡礼、日韓平和と和解プラットフォームへの参加）

jpjp***jp***jp***jp

本日は、公開講演会にご参加いただき、ありがとうございました。

講演会の感想など、下記、QRコードより、アンケートにご協力いただきますよう、お願いいたします。



連絡先

日本カトリック正義と平和協議会

〒135-8585 江東区潮見 2-10-10

電話 03-5632-4444

ファクス 03-5632-7920

メール jccjp@cbcj.catholic.jp